

「face to faceを科学する」月刊イベントマーケティング

EVENT MARKETING 65

November 30, 2020

特別企画
Go To 沖縄 MICE



今月のインタビュー
全国中小企業団体中央会
事業推進本部 ものづくり
基金推進部 審議役
森田 博行さん

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 5F
TEL03-6721-5303 sofu@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp



これから続く新しい物語へ

ガンガラーの谷は、数十万年前の鍾乳洞が崩れてできた太古の谷。太古の人々は、ここに命を育み、繋げてきたという。

那覇空港から車で30分、沖縄県南部の南城市にあるガンガラーの谷は、MICE関連のパーティ会場やエンタメのライブ会場としても活用される、全国でも数少ない自然のなかのユニークベニュー。

今回本紙編集部も参加した10月30日から11月1日までの沖縄MICEプロジェクトの取材行程では、1日目の夜にここでレセプションパーティが開催された（沖縄MICEレポートは2p、4p）。

同行していた沖縄にも詳しい旅行雑誌の編集者も「こんなめずらしい場所での食事は初めてだ」と、豊富な取材経験でも貴重な初体

験だと話していた。パーティでは、「2万年前の人類『港川人』の居住区の可能性から発掘調査が継続され、これまでに世界最古となる約2万3千年前の釣り針が発見されている」との解説もあり、古代人も食事をとっていたかもしれない同じ場所で、いまパーティをしていることを想った。ひとはいつの時代も集い、食をともにしてきたんだと、変わらぬコミュニ

ケーションスタイルに微笑ましくなる。時は超えても、場の記憶に想いを馳せれば古代人との一体感すら感じられた。

沖縄MICEの取材では、こうした悠久の文化と新しく取り入れて混じり合う風土に触れ、どの場所にも物語があって、語り継ぐひとの人柄と合わせて魅力を増す。

コロナ対応やSDGsへの取組み、これらも時代の求める様式と捉えて、思慮深く、でも挑戦的に歩みをとめないことで、これから続く新しい物語をつくっていく。そんな力強さを感じる旅になった。

オンラインでも オフラインでも、

**ビジネスイベントのお悩みは
イベントレジストにお任せください！**



申込受付を統合管理

- ・ウェブ事前受付、オンライン決済
- ・イベントへのスマートチェックイン
- ・動画、ライブ配信の申込者のみの視聴制御



ワンストップで対応可能

- ・企画 ・会場手配 ・デザイン / 施工
- ・運営進行 ・撮影 / 映像 / ライブ配信
- ・申込サイト制作



ビジネスイベントの実績多数

- ・カンファレンス ・セミナー ・展示会
- ・ウェビナー ・オンラインイベントなど



イベントレジスト株式会社
<https://eventregist.com>

資料請求・お問い合わせ
contact@eventregist.com



Go To 沖縄MICEレポート

創発と癒しの OKINAWA MICE

10社11名のインセンティブ旅行を扱うMICEバイヤーとともに巡り、体験し、現場の声を聞いた15の施設・コンテンツ・ディスティネーション。海外から国内リゾートへと開催地変更が進む企業インセンティブの視点から沖縄MICEの最前線を紹介する。（取材・文＝編集部樋口陽子）

1日目 新様式 MICE を体験

01 ホテルコレクティブ 非接触型検温タブレットも導入

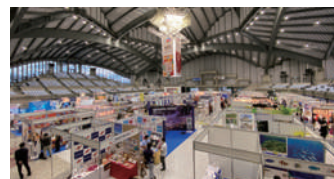
02 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ の徹底した対策

「ホテルコレクティブ」は2020年4月にグランドオープンした新しいホテル。全260室。国際通りの中心部と立地が良く、480㎡・250㎡の宴会場も持ち、ミーティング・インセンティブ向き。非接触型検温タブレットも導入し、コロナ対策も徹底されていた。ラグジュアリーな空間づくりのため修学旅行は受け入れない方針。「沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ」は、那覇空港から車で10分。全269室。698㎡を含む11室の宴会場をもつホテル。6月に県内ホテルでも先行しコロナ対策の内覧会を実

施。9月には入場制限・参加者管理体制を整える事前登録システムと入退場ゲートを県内企業と協力して開発し披露するなど、日々アップデートを重ねる。館内のいたる所で、マスク着用や空気除菌清浄機の設置などのピクトグラムサイン（全20種）を掲出。担当者は「意識づけのため、あえて過剰に」と話す。飲食配膳は、提供用と下げる用のそれぞれのスタッフを用意する徹底ぶり。大型インセンティブ案件は2022年に800名規模の間合せが、2021年に医療系学会などが予定される。

03 沖縄コンベンションセンター で大規模展示・商談会

沖縄初上陸の「ツーリズム EXPO ジャパン 旅の祭典 in 沖縄」、「ResorTech Okinawa おきなわ国際 IT 見本市 2020」が沖縄コンベンションセンターと近隣の宜野湾市立多目的運動場で開催された。会期中の来場者数は24,174人を集めた。



展示会場（2展の主催者インタビューは4p）

04 ガンガラーの谷 で模擬レセプション体験

鍾乳洞を会場にした、めずらしいユニークベニュー。コロナ感染症防止に対応した新スタイルでレセプションを実施した。今回は着席で仕出し弁当を用意、食事中に利用するマスクケースもセッティングされ、アルコール提供はせず、ステージ上のショーを堪能した。



幻想的な「ガンガラーの谷」

MICEバイヤーの声

「コロナ禍においてはオープンエアの施設はとても良い」「海外のリゾートMICEに引けをとらないホテル」「シティリゾート希望の方にも有効」との声が聞かれた、沖縄MICEの視察先。多様なニーズと昨今のWITHコロナに対応する内容に安心して提案できるとMICEバイヤーは話す。海外渡航が厳しいなか、海外リゾートMICEに対抗する国内候補地として、リゾート地ならではの可能性を改めて発見したとの意見もあった。企業内外のコミュニケーション機会創出やアイデアの創発、モチベーションの活性化など、心地良い風の吹く癒しの沖縄で、将来ビジョンや戦略を共有したい。

2日目 風を感じる中部エリアへ

05 ビオスの丘 大自然のなかでのチームビルディング

沖縄亜熱帯の森や山々の自然、湖水もある広大な植物園。チームビルディングメニュー「なうまい（庭御廻）」体験が行われた。湖水観賞舟にゆられながらプログラムはスタート。6名ずつの2チーム対抗戦で各チームは2名3組の密に配慮したチーム構成で、園内全体をつかった謎解きに挑戦。

クリアすると火起こし体験が待っていて着火の早い順に加点、チーム対抗で回数を競う長縄跳び、チームメイトへ渡すお土産づくりで終了した。

大きなブランコや自然とのふれあいなど、非日常体験のなかでチーム力を磨く。



優勝チームは水牛と記念撮影

06 大家（うふやー） 沖縄古民家のユニークベニュー

築100年の琉球の歴史が残る古民家を修復したユニークベニューで琉球料理を提供。木の温もり、畳の感触、縁側から見る自然の風景がピーチとは趣の異なる沖縄を感じる。MICE団体用は一般と敷地と入り口も分けられており、別邸エリアで特別なパーティプランがある。風の通り抜ける中庭ではカジュアルなガーデンビュッフェから野性味あふれる豚の丸焼きバーベ



11月でも温かく爽やかな風が吹き抜ける

キューまで様々なメニューを用意。比較的女性の多い化粧品、保険などの企業インセンティブでの実績が豊富。

07 万国津梁館 日本初のリゾート型サミット施設

08 ザ・ブセナテラス の高級リゾート MICE

09 ブセナ海中公園 でひと息

2000年首脳サミットが行われた沖縄MICE施設の代表格「万国津梁館」ではコロナ対応の新しいリゾートMICEスタイルを提案。オープンエア構造は最も特徴的。隣接する高級リゾートホテル「ザ・ブセナテラス」は、万国津梁館でのMICE開催時に宿泊を担う。高級感と規模感を併せもつリゾートMICEを演出。全410室の全館貸切でのみプールサイドパーティも可。テラススタイル設計で風や波音が非日常体験を生む。ワーケーションプランも展開し順調に推移しているという。ブセナ海中公園内にある「海中展望塔」は定員24名を10名に制限し運営中。



今年50周年を迎える「ブセナ海中公園」



オープンエアによる換気が構造上のメリットの「万国津梁館」



東シナ海の水平線が視界に広がるよう設計された「ザ・ブセナテラス」のロビー

10 福州園 中国式庭園でアフター MICE パーティ

那覇市内にあるユニークベニュー。閉園後の18時から21時まで、または休演日の水曜日は9時から21時までMICE利用が可能。MICEプランでは通常は100名規模のパーティができるが、コロナ対策で現在50名に制限し対応している。ライトアップされた幻想的な園内の景色を楽しみながら、今回はノンアルコールのドリンクが提供され、月を眺めながら二胡演奏が披露された。悠久の交友を育む。

那覇市と中国福州市の友好都市締結10執念記念事業として1992年に建設された。2021年4月～22年3月までリニューアルのため休園予定



3日目 那覇市～糸満市に MICE の新風吹く

11 ロワジールホテル那覇 市内最大の宴会場

那覇市内最大規模1000人収容の宴会場を含む、13室の宴会場をもつホテル。コロナ対策を講じ2月からスタッフ全員マスク着用、3月よりソーシャルディスタンスレイアウトに切替、6月には予防対策を整え稼働。11月には飲食時に使用するマスクケースもセット、ケータリングに共用のトングを使用せず、抗菌皿使用などで対応する。8月にはコンベンション案件、現地参加者160名のハイブリット開催実績も。



独自に防疫対策動画も作成している

13 浮島ガーデン で SDGs なヴィーガンランチ

SDGsをテーマに「17のゴールのうち6つは食で解決出来る」とオーナー。五穀を使って、肉、魚、卵、乳製品の味わい表現したヴィーガン料理を提供。MICEのケータリング弁当提供も行う。丁寧に手間暇かけて調理された1品1品は味わい深い。

沖縄在来の雑穀にこだわり栽培にも着手。島豆腐のベジタコライス（左下）は人気。肉・魚料理に見えるがすべてヴィーガン



12 首里城公園 で復興中の状況を体験

首里城焼失後、旅行会社の関心が高く問合せも多いという「首里城」をMICEコンテンツとして体験。那覇市観光協会の提供する「那覇まちま〜い」のガイドコースの一つ、首里城物語りを約10名ずつ2グループに分けて巡った。「まちま〜い」とは沖縄の方言で「まち巡り」という意。歴史や文化に詳しいガイドがローカルネタを交えながら那覇のまちを案内する。所要時間は約80分。コースは、守礼門からはじまり火災で焼失した正殿遺構を組み込み、遺構保護処置のようすも詳しく解説する。



首里城物語は焼失後「新たに発見のあるコース」と設計された

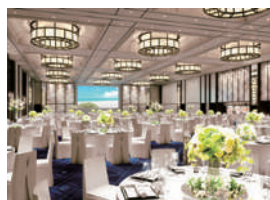
14 糸満市文化・平和・観光振興センター

15 琉球ホテル & リゾート 名城ビーチ が2022年オープン

那覇空港から車で20分圏内と至便で、観光スポット豊富な糸満市で、新MICE施設が建設中だ。2022年4月にオープンする「（仮称）糸満市文化・平和・観光振興センター」は、582席の電動移動観覧席、平土間使用も可能な大ホールもあり、公共施設の料金形態で利用できる。2022年夏オープンの「琉球ホテル & リゾート 名城ビーチ」は那覇空港から車で約20分のビーチリゾートに全室オーシャンビューの452の客室、9施設の宴会場で高級リゾートMICEを提案。



演劇、演奏、会議、集会、展示会などさまざまなニーズに対応



「琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ」大宴会場イメージ図



OKINAWA Japan

Where inspiration meets

いま世界のビジネスは、^{マイス}MICEで満ちあふれています。

それはいつものオフィスから離れた場所で行う
ミーティング、会議、報奨旅行、学会、展示会などの総称で、日本でも盛んに開催されています。

その開催地に、沖縄を。

日本とアジアの間にあるこの島は、国を、人を、英知をつなぎ、
新たな価値を創造する架け橋として役割を果たしてきました。
そしていま沖縄は、あなたのビジネスを未来へとつないでいきます。

非日常の空間で柔軟な発想を、心躍るひらめきを。
ビジネスに変化をもたらす風を沖縄で感じてみては。

事実、この島でのMICE開催は年間1000件以上。
MICEを迎え入れる環境は万全です。そして今なお進化を続けています。
沖縄は、あなたのビジネスの力になる。

ビジネスが、新しい閃きと出会う日。

OKINAWA MICE



<https://mice.okinawastory.jp/mice-brand/>



初上陸の「ツーリズム EXPO ジャパン」 初開催の「ResorTech Okinawa」

沖縄初上陸の「ツーリズムEXPOジャパン」に、沖縄発の「ResorTech Okinawa」。10月29日から11月1日までの4日間、リゾート地で、オンライン開催と併催しながらの展示会は、新たなMICEの形になりそうだ。

(2020年10月31日収録)



「MICE だけでなく、ツーリズム復活のきっかけに」「沖縄の風土と会場規模が上手くマッチした」

沖縄初上陸となった「ツーリズム EXPO ジャパン 旅の祭典 in 沖縄」。世界 30 カ国・地域から285企業・団体が出展。リアルとオンラインを併用し、事前マッチングによる商談件数は1786件、来場者数は24,174人(同時開催展含む)と人数制限を行いつつも目標値を上回った。

早坂 学さん

一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)
ツーリズム EXPO
ジャパン推進室 室長



——初の沖縄開催の経緯を教えてください

早坂 「ツーリズム EXPO ジャパン」は、例年東京ビッグサイトで開催してきましたが、東京オリンピックパラリンピック開催に伴って利用できない2019年、20年は地方開催のチャレンジのチャンスと捉えました。GDPに占めるツーリズム産業の割合も増えており、地方活性化につなげる機会として開催地を公募、2019年は東京に次ぐ第2の大都市大阪を、そして20年はリゾートをテーマに、国内で世界に通じるリゾート地として可能性を秘める沖縄での開催を決定し、世界へ発信していこうと決めました。沖縄開催は2017年春には決まっていたなか、コロナ禍での開催は主催者として不安もありましたが、安全安心なMICEのモデルを示すことができれば、MICEだけでなく、ツーリズム復活のきっかけにもなると、開催に踏み切りました。

——コロナ対策を考える上での沖縄の強み

早坂 沖縄コンベンションセンターの展示棟、会議棟、劇場棟、そして、宜野湾市立多目的運動場、ラグナガーデンホテルと近隣エリアにある施設を広域で分散利用しています。また、屋外ではフードフェスタを3箇所展開しました。陽気のちょうどいい季節に自然のなかで解放感を楽しんでもらうのも、魅力の一つ。気候はまさに強みです。

安全安心な開催モデルの一つの工夫で、1日を時間制を設けて2回に分けることで2会場合わせて1日1万名を上限としました。フードフェスタは基準を上回った際に会場外で待ちの間も楽しんでいただくための仕掛けでもあり、分散型でのイベント開催の取り組みでもあります。

——MICEの新しいモデルのスタートを予感させます

早坂 地方開催の展開は一つの狙いですから、そう望んでいます。また、地方から世界へ発信しようと、インターナショナル・ツーリズム・フォーラムを開催しました。いつもは観光大臣会合として実施しているものです。今回は海外からの入国が厳しいため、在日の大使をお呼びし、スペイン、タイ、エジプト、そして日本からは観光庁、日本政府観光局、JTBから6名、英語でYouTubeに同時配信し、沖縄から新しい観光モデル、MICEモデルの発信をしました。県でもコロナ禍におけるMICE開催のスタートラインにしようと、沖縄県や開催地の宜野湾市などの皆さんにも協力して動いていただきました。今回、リアルで話す機会を得られたと非常に喜んでいただいた出展者の方もあり、海外へ安全安心を含めた魅力発信もできる、リアルとオンラインのハイブリッド型での手応えを感じています。

初の本格開催となった「ResorTech Okinawaおきなわ国際IT見本市2020(以下リゾテック)」。リアル出展とオンラインのみ、セミナーと多様な参加方法で85社のテクノロジー系企業が集結した。

——沖縄開催の魅力を教えてください

永井 カンヌ国際映画祭がフランスのリゾート地カンヌで開催するのは、文化的なところ合うのかもしれませんが、世界のIT展示会・テクノロジー系イベントもリゾート地など普段とは違った頭を使ったり、感覚が研ぎ澄まされたりするところでの開催がトレンドになっています。ですから、沖縄での開催は違和感のない流れなんです。

——コロナ禍での開催に思う、沖縄の強みをお聞かせください

永井 主催者としてコロナ禍での開催に大きな危機感を持っていました。開催や途中中止もあり得ると思いながら、開催して実感した沖縄ならではの強みは、一つは換気の良さです。風がとてよく吹く場所で、しかも心地よい風で、密で空気が淀むことがない。沖縄の風土と展示会場となった沖縄コンベンションセンターのサイズ感がとても上手くマッチしたと感じます。ふたつめは、沖縄のエッセンシャルワーカーの方々が使命感をもって地味な仕事でもモチベーション高く環境を整えてくださること。そして3つめは、RICCAという沖縄独自のLINEベースアプリのシステム導入もあります。抜本的に特別な対策ではないけれど、地道な積み重ねで運営しています。

——出展企業からの声はいかがでしたか

永井 リアル展示会は大企業ほど禁止令が出

永井 義人さん

一般財団法人沖縄IT
イノベーション戦略
センター (ISCO)
専務理事



ていて営業活動は大変でした。ただ、リアルブース出展はなくともオンライン出展のみでも、NEC、SCSK、ソフトバンク、auの沖縄セルラー、KDDIの大手企業各社さんが参加いただきました。

——初の本格開催となった今回の新たな取り組みは

永井 コロナ対策としても、今回からオンライン開催も併催しました。沖縄開催ではどうしても県外からの参加のしづらさもありますが、オンラインでは新しい来場者の開拓をする可能性もできます。これですごくビジョンが広がりましたし、5年後、10年後のリゾテックを大きな姿で描けるようになった感じです(会期中オンライン参加者1,825人、リアル21,940人*同時開催展含む)。今回は「リアルで4日間、オンラインで約1か月間」の開催形態を取りましたが、近い将来、オンライン展示会を年間の常設にして、そこに通常のリアル開催を年1回で並走実施してみてもどうかというシナリオも出てきました。そうすることでビジネス的にも安定し、仕事も平準化するのではと考えています。今回の取り組みは、リゾテックのコアにオンライン開催を取り入れ、新しいビジネスモデル、展示会モデルをつくっていく機会にもなり、来季のリゾテックがどうなるか楽しみです。

沖縄での一夜は洞窟で

CAVEPARTY.JP

VALLEY OF GANDALA
ガンガラーの谷
Guided tour

感染症対策の為、プランに変更がございます。詳しくはお問い合わせ下さい。

OKINAWA Japan
Where inspiration meets

株式会社
DMC 沖縄

株式会社 DMC Greater Yokohama 内
plan@dmc-okinawa.co.jp

本社 〒902-0071 那覇市繁多川 3-7-1 TEL 098-943-6642

首都圏プランチ
〒231-0011 横浜市中区太田町 2-23
横浜メディア・ビジネスセンター 9階

エンタメ・街おこしイベントも戻ってきた

LANDO SAKURA ~ NIGHT FESTIVAL ~

展示会などビジネスイベントが再開しているなか、BtoC、エンターテインメント系のイベント再開は時間がかかっている。

そのような状況のなか10月30日(金)から3日間、千葉県佐倉市の佐倉城址公園で、「LANDO SAKURA ~ NIGHT FESTIVAL ~」が実施された。佐倉市の公式イベントだが、主催はイベント関連企業3社で構成された、実行委員会だ。

万全な感染症対策と、イベント再開に向けた想いによって実現した同イベントについて、実行委員会委員長を務める有限会社セットアップ代表取締役社長の大久保勇さんに話をうかがった。



上) よさこいのチームも「最高の舞台をもらえた」下) 子どもたちも祭を堪能

独自コインなど 楽しい感染症対策

懐かしいフォークソングから、若手ミュージシャンまで、ステージでは地元佐倉市にゆかりのあるアーティストがパフォーマンスを披露。会場では、久しぶりに同級生と合って喜びあう学生や、3世代でフェスを楽しむ家族連れの姿もある。人間らしい生活には、祭りが欠かせないとい



(有) セットアップ大久保勇さん

らためて思い出させてくれる。

地元佐倉市の飲食店がキッチンカーで出店しており、食事する客は、LANDO コインというイベント独自の通貨で料金を払っていた。

「接触機会を減らすための施策なんですけど、感染症対策のなかにも“楽しさ”を入れたかったんです」とイベントを主催するLANDO 事務局代表の大久保勇さんは言う。コインを入れる金魚袋も“祭り”らしさを演出する大久保さんの発案だ。

感染症対策で来場者数を1000人未満にするために最大6人のグループで事前登録が必要。その際に代表者は佐倉市民とし、地元に着したイベントとした。

LANDOのコンセプトは“土地の魅力を見つけ、土地の素材を活かし、

土地の魅力を伝える”こと。LANDに“O”がつくのは、人の輪が体験の価値をつくる、そしてゼロからの視点で魅力を探すという想いがある。

開催待つのではなく 自ら主催、賛同者募る

大久保さんが経営する有限会社セットアップは、Red Bull の Air Race や Ice Cross、大型フェスをはじめ、エンターテインメント系イベントの施工や企業の販促イベントの企画運営などを手がける。今年2月から8月までイベント開催がなく、9月に入っても、本格的な再開にはほど遠い状況。「早く開催して欲しい、と待ってばかりもいられないので、自分たちでやってみよう」と、勢いで、808

株式会社、有限会社アズリアルと一緒にLANDO 事務局を立ちあげた。モニック、レンタルのニッケンなどイベント会社約14社も賛同し、運営をサポートした。

コロナ禍でイベントと一緒に開催してくれる自治体を探していたところ、佐倉市が賛同、後援してくれた。「僕らだけでなく、自治体の方も、市民の方も、みなさんイベントをやりたいという気持ちがあって、それがあったので、状況が目まぐるしく変わるなか、2か月弱という短い準備期間で開催できた」(大久保さん)。

フェス2日目・3日目のラストを飾ったよさこいの各チームも「一生懸命練習した今年の楽曲もコロナで披露の場がないまま終わるところだったが、最高の舞台をもらえた」と、そ



れぞれの熱い想いが込められた踊りを披露。会場をおおいに沸かした。

「この開催で屋外イベントのガイドラインになるような知見が蓄積できた」と大久保さんは語る。イベント会場には大手イベント会社や他の自治体関係者も大久保さんを訪れ、今回の知見を共有したり、イベント企画の相談に乗っているという。

エンタメ・地域振興のイベントの復興も加速しそうだ。

(2020年10月31日収録)

社会的危機に立ち向かう共生社会の第一歩

SHARE SUMMIT2020

“Co-Society 分断を乗り越えて、共生による持続可能な社会を創る”をテーマに「SHARE SUMMIT 2020」は11月16日、初のオンラインで開催された。西村康稔経済再生担当大臣、Airbnb ジョー・ゲビア氏、サントリー新浪剛史社長など豪華講師陣のセッションに3,400人が参加登録した。

平井卓也デジタル改革担当相は、

都市の良質な情報や高い生産性と、地方の豊かな自然・文化と潤いのある人間関係を融合させ、各地域がサステナブルに発展するという、DXがもたらす、経済優先から心の幸せを重視する社会への移行を語った。

クロージングセッションには、Shareable 創設者の Neal Gorenflo さん、韓国民泊 Wehome の CEO Sanku Jo さん、台湾シェアリングエ

コノミー協会代表でデジタルエコノミー協会の代表も務める Jeffrey Wu さん、シェアリングシティアライアンスの Harmen van Sprang さん、ニューヨーク大学教授の Arun Sundararajan さんと、世界で共生社会づくりを牽引するリーダーが登壇。世界各国の課題や、その解決にどうシェアを活用するかを語った。

同セッションのモデレーターを務



左) 平井デジタル改革担当相も登壇 右) クロージングセッションのグラレコ



めたシェアリングエコノミー協会事務局長の石山アンジュさんは、一日のセッションを振り返りをこうまとめた。「感染症や不安定な政局など、いま人類が立ち向かっている社会的危

機に対しての唯一の希望は“シェア”。SHARE SUMMIT の参加者同士がつながり、共生社会をつくるはじまりの一日になって欲しい。

Impress people

人々に感動を与える

有限会社セットアップ

東京都千代田区神田小川町3丁目7-5 VORT 神保町4F
TEL 03-5283-3775 FAX 03-5283-3779

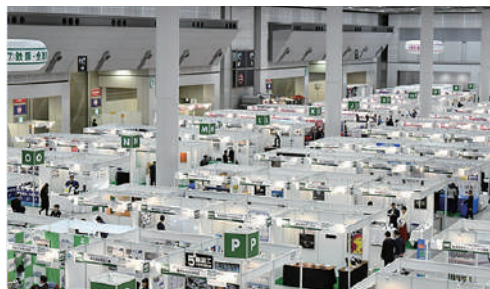
MONIC RENTAL

モニック株式会社

〒342-0015 埼玉県吉川市大字中井20番地1
TEL 048-984-0230 FAX 048-984-0231

主催者インタビュー ものづくり補助事業展示商談会「中小企業新ものづくり・新サービス展」

中小企業の熱意とアイデアのものづくりから販路開拓まで寄り添う



全国中小企業団体中央会
事業推進本部 ものづくり基金推進部 審議役

森田 博行 さん



全文は Web で

「ものづくり補助金」を活用して開発した新製品・サービス・技術等が集まる「中小企業 新ものづくり・新サービス展」が12月7日から3日間、東京ビッグサイト 青海展示棟Aホールで開催される。リアルな場での商談・商品PRの機会を提供することで、全国の中小企業の挑戦をサポートする。同展を主催する全国中小企業団体中央会の森田博行さんにうかがった。

補助金による開発支援から販路開拓まで

「中小企業 新ものづくり・新サービス展」は、中小企業のものづくり支援を、新製品・新サービスの開発にとどまらず、その新技術や製品を披露する場として展示会を開催し、販路開拓までサポートするものです。6回目の開催となる今回は出展者

数645社で、これまで同様に9,000人を超える来場者を見込んでいます。その中には、予め商談希望のあった70社超の有力パイヤーも含まれています。

Web展示も行いますが、やはりメインは会場での展示・商談です。

すでに事前登録とマッチングを開始しており開催半月前の時点で400件を超えるアポイントが成立しています。

中小企業の声に添えてリアル開催に向けた努力

新型コロナウイルスの影響で、これまで全国各地で開催されていた中小企業向けの展示会が、リモートに切り替わりました。私たちがオンライン開催にすべきか検討をしていたのですが、地方の中小企業の方々を中心に、東京の展示会はリアル開催してほしいというご意見を数多くいただきました。

中小企業のものづくりの素晴らしさ

は、経営者や担当者の熱意を注ぎこんだ技術力、フットワークの軽さ、市場に特化した独自性、新規性など、大企業の資本力や豊富な人材を背景にした開発力とは別な魅力があると思います。大企業が近年、それぞれの分野に特化したベンチャー企業や中小企業とコラボレーションしてイノベーションのスピード化を図っているのも、そういうことが背景にあるのだと思います。

しかし、優れた商品を市場に展開するのは、中小企業にとっては難しいことです。実績のない企業が大企業のパイヤーを訪問して商談、契約したり、コラボレーションをするには大きなハードルがあります。それをパイヤーが展示会の場で、新規性の高い製品や優れた加工技術に実際に触れたり、開発者から詳細な説明を聞いたり、といったリアルな場でのコミュニケーションが、壁をこえる手段となっている。そうしたことを中小企業の皆さんが実感されていることが、リアル

開催への要望につながっているのではないのでしょうか。

感染症対策を施しながら中小企業を盛り上げる

感染症対策には十分に留意して開催します。行政、東京都のガイドラインをはじめ、東京ビッグサイトが策定したものや日本展示会協会の「展示会業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」など、イベントや展示会に特化したルールに準拠して、運営を進めていきます。また、万が一感染者が出た場合でも事前登録と連絡先の収集をきっちりと行い、それ以上の感染を防ぐ用意をしています。

“いまを切り取る”というテーマのっており、今回の出展には、感染症対策の新技術、ITを駆使して観光などリアルな場のビジネスを支えるサービス、あるいはガンの早期発見を手軽に行えるキットから宇宙関連のものまで、さまざまな分野の新しいアイデアが集まります。ぜひ会場にお越しください。

NISHIOのオーダーメイド プラダンコンテナ

受注製作
開始!!



1個から製作OK!

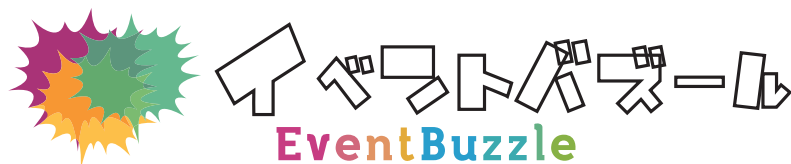
内容物に合わせた
オリジナル設計

緩衝材も合わせて
大切な商品を
しっかり守ります。



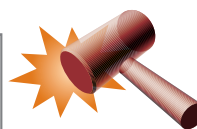
西尾レントオール株式会社
RA東京営業所 RA東京スタジオ

東京都足立区西保木間2-5-10
✉ ratokyo-sign@rent-all.co.jp
Tel 03-5851-9240
Fax 03-5851-9267



イベントを、もっとラクに、
もっと楽しくできるはず

いま、イベントバズールは、皆さまのお役に立つため、さらに見やすく、さらに情報を増やして、生まれ変わろうとしています。



<http://eventbuzzle.com>

ただいま、リニューアル中
もう少しお待ちください



各会場独自の発表と議論を イベント学会第23回研究大会

11月7・8日、イベント学会第23回研究大会が開催された。テーマは“コロナ禍への危機対応と、ウィズ&ポストコロナ時代におけるイベントロジーの展望”。初日第一部の基調講演は、東京・名古屋・大阪の3会場をつないで実施。第二部は、各地区のテーマフォーラム、2日目はオンラインで学会員による研究発表が行われた。

基調講演は中村利雄イベント学会会長がモデレーター、山極寿一京都大学前総長と原田宗彦早稲田大学教授が登壇し、ウィズ&ポストコロナ時代のイベントの在り方を問うた。

シェアリングとコモンズの再考で包摂社会の建設を

ゴリラ研究の第一人者でもある山極氏は、霊長類の脳進化と社会規模の増大が正の相関を持つことを解説。言葉の発明以前の、人間の集団行動が対面交渉と共感力を育んだが、それを高めたのが共食と共同保育であり歌や踊りの音楽的コミュニケーションだったという。

また、言語的コミュニケーションがもたらした「見えないものを見せる、物語を作り共有、想像し創造する、架空なものを描く」など、人間の進化と社会の拡大を支えてきたが、現代は身体をつながりでなく脳をつながり(情報交換)に時間を費やす共感能力減退の、不安の時代である。

コロナ禍が、人間の暮らしに必要な非労働行為(子育て、家事、介護)やサービス産業や文化の大切さを気づかせてくれたが、これからは新しい包摂社会(シェアリングとコモンズの再考)の建設に向かう必要がある。

スポーツは遊び!! そしてスポーツはどこに向かうのか

原田氏は、「スポーツの本質は、遊びである」との根源的問いを、ホイジンガとカイヨワの「遊び論」から説き起



基調講演は東名阪の3会場をIT/IP映像配信でつないだ。東京会場の東京ポートシティ竹芝ポートスタジオではソーシャルディスタンスを守って実施

こし、「レジャー概念」と「レクリエーション概念」との親和性と相関性を加えながら、ビジネスとプロダクトと消費を俯瞰するスポーツマーケティングの総合性を提示。

コロナ禍における人間とスポーツの現状と課題を、「仕事と余暇の境界の喪失」「テレワークに必須の仕事と遊びの均衡」「スポーツワケーションの可能性」に触れながら、これからのスポーツ文化の方向性として、『テクノロジーとの融合』『スポーツまちづくり』『スポーツの辺境地拡大』に積極的に触れられた。

各地区でのテーマフォーラムと活発な研究発表

第二部は地区別にテーマフォーラムが実施された。東京ポートシティ竹芝ポートスタジオで開催された東日本地区では「専門分野から見たウィズ&ポスト・コロナ時代のイベントの可能性と実践手法の考察」をテーマに

リレートーク・クロストークを行った。中日本地区では「愛・地球的イベント力によるSDGs共創」をテーマに活発な議論が行われ、女優の竹下景子さんが司会を努めるなど話題も多く、地元メディアにも掲載された。西日本地区は「万博の価値と形の変容探求～パンパクノカタチ」として、大阪・関西万博の企画・構想に関わる参加者も多く、具体的なアイデアについて話し合われた。

2日目の学会員による研究発表は野川春夫座長と上代圭子座長の2つのルームに分かれてオンラインで実施された。師岡文男上智大学名誉教授とイベント学会福井昌平副会長の『「世界レジャー会議2026大会」の日本招致プロジェクトの意義』、集客都市研究所の小松史郎氏「ウィズ&ポスト・コロナ時代におけるスタジアム・アリーナイベントの展望」をはじめ、各分野の第一人者たちが自身の研究を発表した。



早稲田大学の原田宗彦教授



東京・名古屋・大阪の3会場の議論を総括

リアル、オンライン、ハイブリッドも 応募の幅広がる

—— 第7回 JACE イベントアワード



第6回 JACE イベントアワードの日本イベント大賞「TOKYO MOTOR SHOW 2019 FUTURE DRONE ENTERTAINMENT“CONTACT”」

日本イベント産業振興協会(JACE)は、「第7回JACEイベントアワード」の募集を開始した。2020年1月1日～12月31日の期間内に終了した国内外のイベントを対象に、イベント全体だけでなく、演出、運営などの個別分野やイベントにまつわる人・事柄を応募対象にするユニークなアワード。応募期間は2021年3月9日まで。

賞は最優秀賞 経済産業大臣賞(日本イベント大賞)1作品(賞金30万円)、優秀賞(部門賞)5～7作品(10万円)、

イベントプロフェッショナル賞1作品(30万円)が用意される。選考では、「コンセプト構築力」、「イノベーション活用力」、「オペレーション&マネジメント力」、「インパクト創出力」、「経済波及効果及び集客効果」が求められる。イベントは公共イベント、市民イベントだけでなく、企業イベントや学生が主催する学園祭・地域イベントも対象となっている。リアル開催のほか、オンライン、ハイブリッドも応募できる。詳細は<http://award.jace.or.jp>まで。

●これまでの日本イベント大賞 受賞イベント

第1回	田舎館村「田んぼアート」＋「ライスコード」
第2回	鷹の爪団の SHIROZEME in 松江城
第3回	日本橋 桜フェスティバル
第4回	花いけバトル
第5回	MR ミュージアム in 京都
第6回	TOKYO MOTOR SHOW 2019 FUTURE DRONE ENTERTAINMENT“CONTACT”

<お詫びと訂正> 月刊イベントマーケティング 64号

10月31日発行の月刊イベントマーケティング64号にて、下記の誤りがありました。謹んでお詫び申し上げ、ここに訂正いたします。

①8面右上「映像解析で滞在者数管理」の記事で「キャノン」、「キャノン株式会社」と記載いたしましたが、正しくは「キヤノン」、「キヤノン株式会社」となります。また掲載の画像に誤りがございました。

②8面右下の記事「映像センターのスタジオから配信ー JCMA オンライン勉強会」の記事1行目「日本コンベンションサービス」と記載いたしましたが、正しくは「日本コンベンション協会」でした。修正したPDFは下記URL

<https://www.event-marketing.co.jp/backnumber/>、またはQRコードからご確認ください。



EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

BACKSTAGE 2020

次の2020年12月21日号で特集します

成長したワタシを見てね♥

- 1月31日 企業がやるべきイベント・やってはいけないイベント
- 2月28日 空間ディスプレイ特集 “行きたくなる” をデザイン
- 3月31日 地域 MICE・イベント施設
- 4月30日 イベントの SDGs
- 5月31日 ハイブリットイベントを考える

広告出稿の問合せはこちら▷株式会社 MICE 研究所
info@event-marketing.co.jp (担当: 田中力)

第7回 JACE イベントアワード

今こそ、イベントのチカラを!

イベント作品 大募集中!

概要	イベントの主催者やスタッフを表彰する日本で唯一のアワードです。2020年に実施されたイベントで、規模に関わらず幅広く募集しています。リアルとオンラインのハイブリッドイベントや、オンラインのみのイベントなども応募の対象です。	表彰部門	最優秀賞 経済産業大臣賞 賞金 30万円 イベントプロフェッショナル賞 賞金 30万円 優秀賞 5～7作品 賞金 各10万円 推薦者 賞金 各3万円
応募対象	2020年1月1日～2020年12月31日の期間内に終了した国内外のイベント		
応募締切	2021年3月9日(火) ※郵送の場合は必着		

JACE (日本イベント産業振興協会) は、イベントの企画・制作を手掛けている企業や団体、主催者などで構成される一般社団法人です。「イベント業務管理士1級・2級」「イベント検定」「スポーツイベント検定」「ユニバーサルイベント検定」の資格事業をはじめとした、様々な活動を行っております。

詳細は WEBで JACEイベントアワード 検索 <http://award.jace.or.jp/>

主催: (一社) 日本イベント産業振興協会
後援: 経済産業省

体験型マーケティングに学び、出会う12月

「BACKSTAGE2020」

12月21日
まで待てない!?

土屋 敏男さん
日本テレビ放送網
シニアクリエイター



高橋 奈七永選手
SEAdLINNNG



世志琥選手
SEAdLINNNG



天野 春果さん
川崎フロンターレ
管理部長



古市 優子さん
Comexposium Japan
代表取締役社長



Peter Lewis さん
SXSW, LLC.
Global Head of Sales & Operations



YGQ. さん
TOTONNOY, LLC
音楽プロデューサー／映像監督



大谷 ノブ彦さん
吉本興業
お笑い芸人



森田 昇さん
テレビ東京
コンテンツ事業局
ドラマプロデュース部 部長



VCB さん
かまってちゃんマーケター



鈴木 亜希子さん
サイボウズ
プロモーションディレクター



諸石 治之さん
IMAGICA EEX
代表取締役 CEO/CCO

今年で5回目を迎える体験型マーケティングに学び、出会うビジネスカンファレンス「BACKSTAGE2020」は、12月21日、虎ノ門ヒルズフォーラムとオンラインでハイブリッド開催する。

電波少年土屋 P から 恒例女子プロ選手も

今年はコロナ禍でも、さまざまな手法でリアル価値を届け、新たなチャレンジに取り組むスピーカーが登壇する。

「『電波少年 W ～テレビの記憶を集めた～い』とはどんな番組なのか?」として、来年1月にWOWOW でスタートする番組の全貌を、企画・演出の土屋敏男さんが語る。同じくテレビ業界から、「ドラマと繋いだテレビとニュースアプリの挑戦」としてテレビ東京の森田昇さん、スマートニュースの山田大一さんが新たな試みについての双方の視点を話す。

ライブエンタメ界からは、「最先端メディア

を活用したライブ配信の舞台裏と新たなライブエンタテインメントの創出(仮)」として新しいエクスペリエンスを届けたLINE 浅野裕介さん、IMAGICA Lab. の加藤欧一郎さん、IMAGICA EEX の諸石治之さんが舞台裏を紹介する。

「サウナのあるワーキングスタイル」では、さうなおごじょさん、柳橋弘紀さん、岩田リョウコさん、YGQ. さんといったクリエイターがサウナで仕事、会議、会食、打ち上げなどを紹介。恒例のプロレスラー枠には、女子プロ界 SEAdLINNNG の高橋奈七永選手、世志琥選手が、リアルクロス代表取締役社長の山口義徳さんと参戦。

また、2020年に突如結成され、半年で10回を超えるラジオ風トーク番組を配信し続けたVCBのメンバー田中準也さん、鈴木健さん、井上大輔さん、緒方恵さん、長瀬次英さんは「かまってちゃんマーケター出張企画『エンターテインメントの未来を語る!』」として語り合う。

ビジネスイベントの潮流を知るセッションには「コロナ禍で”進化”&”深化”したイベントマーケティング」にStill Day One 小島英揮さん、サイボウズ鈴木亜希子さん、ビッグビート濱口豊さんが登場。海外からも「グローバルな複合型イベントの未来」SXSWのオンライン視察方法と企業のマーケティング活動の事例」として、SXSW 本部のPeter Lewisさん、SXSW Japan OfficeのAya Poterさん、曾我浩太郎さん、宮川麻衣子さんが2021年のSXSWを解説する。

12月1日から拡張版企画で 盛り上がる

ハイブリッド初開催となる今回は、オンラインのメリットを最大限に活かし、日時や場所にとらわれない方法での拡張版企画を展開。「BACKSTAGE2020 まで待てない!!」として12月1日から平日毎日オンラインで開催。

「BACKSTAGE2020 まで待てない!!」に

は、川崎フロンターレ管理部長の天野春果さんが「天野式プロジェクトマネジメントの極意」を披露。Comexposium Japan 古市優子さんが「2020年、配信沼にハマった住人たちのから騒ぎ」を展開。お笑い芸人のダイノジ大谷ノブ彦さんからも登場する。事前セッションは登録のみで無料閲覧できる。

12月21日の「BACKSTAGE2020」へのリアル参加及びオンライン閲覧は有料チケットを発売中。「虎ノ門ヒルズ来場用チケット」または「オンラインチケット」購入者は、1回の登録のみで「BACKSTAGE2020 まで待てない!!」セッションも視聴可。12月1日から21日まで全セッションを楽しむことができる。

開催概要

名称: BACKSTAGE2020
日時: 2020年12月21日(月)
会場: 虎ノ門ヒルズフォーラム + オンライン
主催: BACKSTAGE 実行委員会
入場: 有料、事前登録制

マーケティングではどちらを先に考えるべきか?

A 戦術 82% B 戦略 18%

投票受付中

オンライン&リアルのハイブリッド開催!

2020
12.21 MON @TORANOMON HILLS FORUM
体験型マーケティングに学び、出会う1日
#backstage20
BACKSTAGE
～初の冬開催～